•••• Model Course 8 ••••

いぬ なき さん **犬鳴山** 【葛城第八経塚(犬鳴山七宝瀧寺鈴杵ヶ嶽)】

葛城修験の根本道場、七宝瀧寺から 経塚や行場のある頂へ

犬鳴山七宝瀧寺は、役行者開基と伝わる葛城修験の拠点のひとつであり、大 峯山より早く開山されたので、元山上とも呼ばれる。一般の目に触れる行場は行 者の滝をはじめとする滝群だが、周辺の山中には表行場や裏行場をはじめ数多 くの行場が設けられている。

犬鳴山温泉は小さいながらも大阪府下では唯一の温泉郷。犬鳴山バス停から 温泉街を抜けて渓谷沿いに七宝瀧寺を目指す。総門からが寺域となり、雰囲気 が一変する。両界ノ滝や塔ノ滝を見ながら、本堂に向かう。

犬鳴山の名の由来となった義犬の墓を左上に見ると、やがて右手に大きな身代わり不動明王像の立つ広場がある。不動明王像の右手奥に第八経塚のある経塚権現山への登り口がある。いったん本堂と、一日修行体験で一般でも滝行ができる行者の滝に参ったあと、登山道に取り付く。

ここからはこれまでの遊歩道とは一変し、登山道となる。急坂を登り切り、右へ向かい護摩場のある燈明ヶ岳へ。ここは七宝瀧寺の奥之院で、鳥居と石祠がある。さらに尾根伝いに登ると第八経塚がある。

ここからは往路をたどって引き返すが、登山も合わせて楽しみたいなら経塚権 現山を越え、右に分岐する道をたどって天狗像のある天狗魔王岳へ足を延ばす のが一般的だ。

歩行距離 ◆ 約4km 歩行時間 ◆ 2時間15分 体力レベル ☆☆★





コース情報



総門からが聖域となる



行者の滝は犬鳴山の行場で よく知られている



身代わり不動明王前の広場。 右手奥に登山道



麓にある大木地区が見える燈 明ヶ岳

アクセス



*JR阪和線日根野駅からは南海ウィングバス犬鳴山ゆきで26分*JR阪和線熊取駅からは和歌山バス那賀粉河駅前ゆきで15分

アドバイス

前半は遊歩道歩きだが、山中は急坂の登山道。トレッキングシューズで臨むこと。本堂の奥、清龍堂の先は有料。天狗魔王岳は登山ではよく登られているが、手前のロープ場は注意。東の大天上ヶ岳へは難路である。